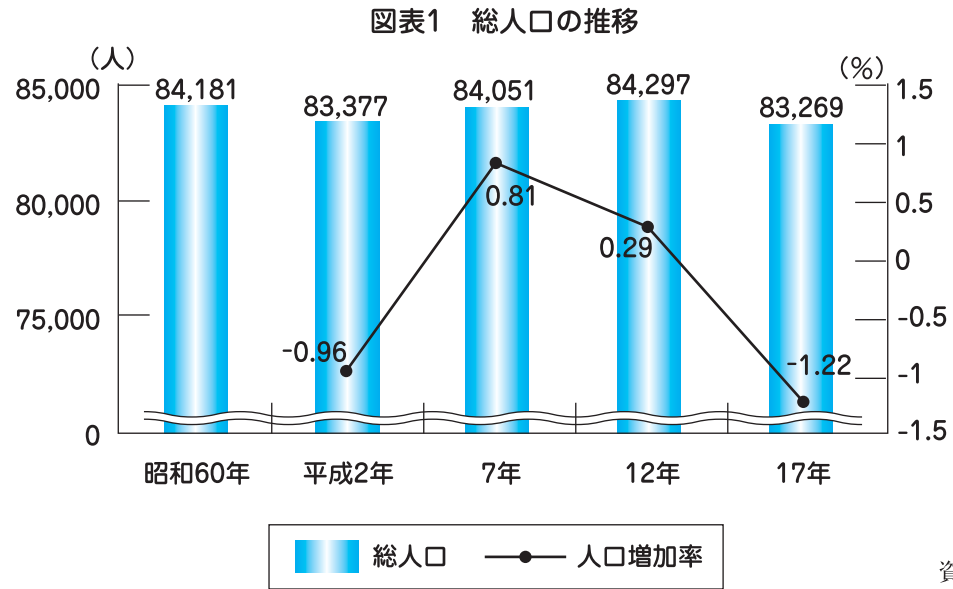


### 【第3章】 人口と世帯

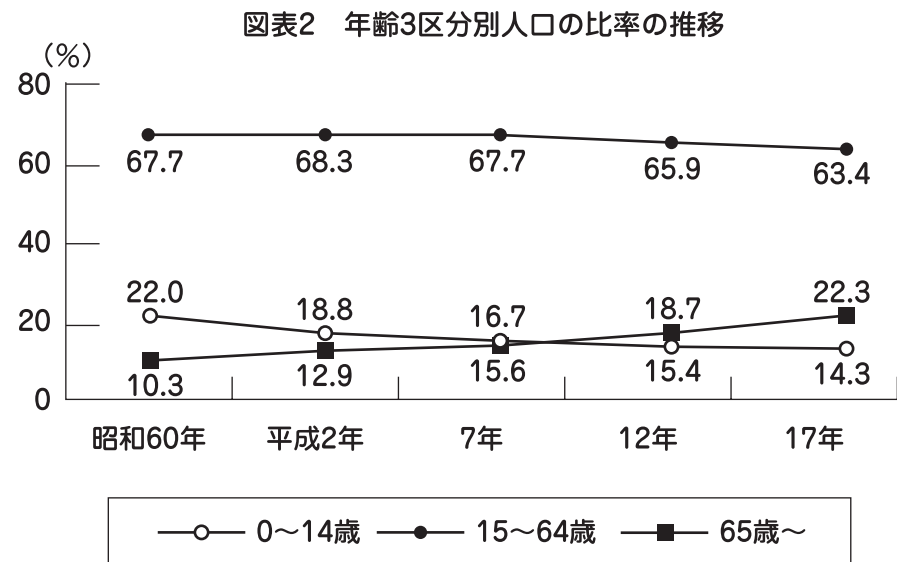
#### 第1節 人口

総人口は、平成12年まで概ね増加する傾向にありましたが、その後、減少傾向に転じ、平成17年の国勢調査では83,269人となっています。



#### 第2節 年齢別人口

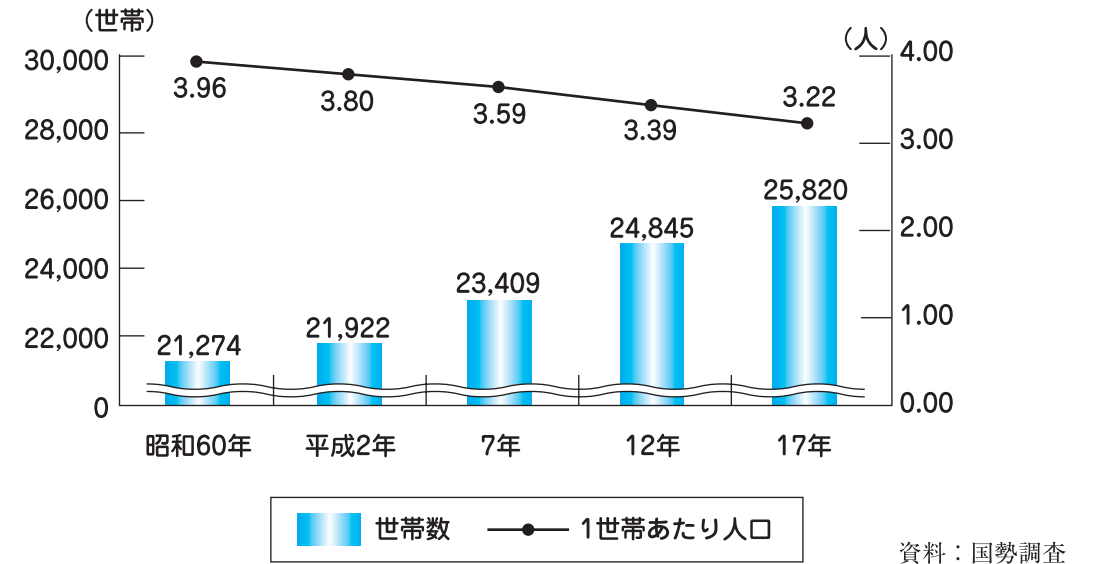
年齢別で見ると、0～14歳人口、15～64歳人口は年々減少する傾向にあります。それに対し、65歳以上人口は増加し、平成17年には総人口の22.3%となっています。



#### 第3節 世帯数

世帯数は増加傾向にあり、平成17年には25,820世帯となっています。1世帯あたりの人員数は、平成17年には1世帯あたり3.22人と、昭和60年と比較して0.74人減少しており、核家族や単身世帯などの増加が影響していると考えられます。

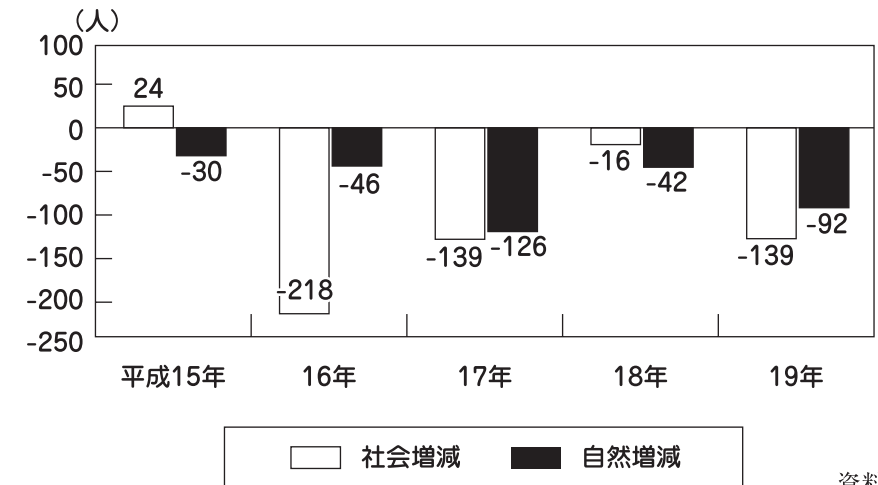
図表3 世帯数及び世帯人員の推移



#### 第4節 社会増減・自然増減

社会増減については、平成16年以降は転出が転入を上回る状況が続いており、平成19年には総人口が139人減少しています。また、自然増減についても、平成15年以降死亡数が出生数を上回る状態が続いており、平成19年には総人口が92人減少しています。

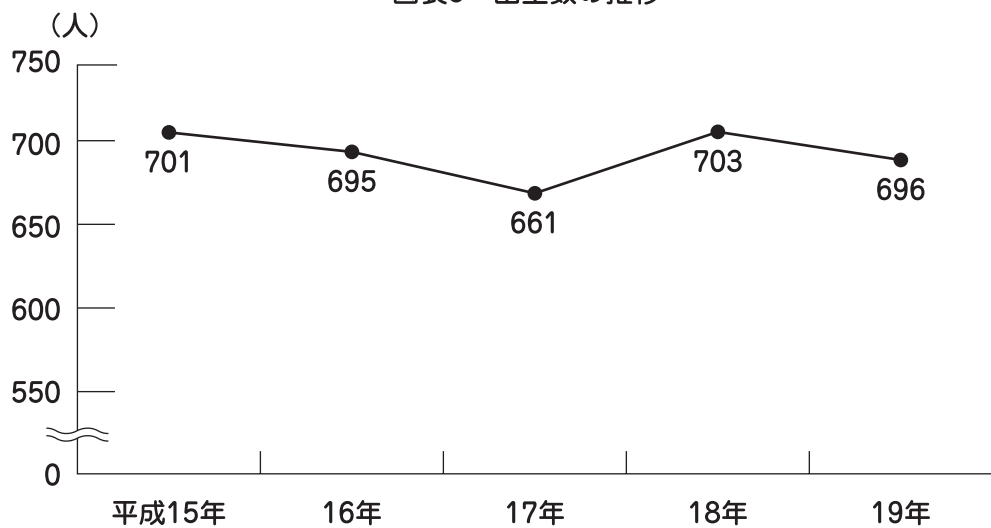
図表4 人口の社会増減・自然増減の推移



## 第1節 出生数

過去5年間の出生数は、平成18年は一時的に増加したものの、その前後の4年はいずれも前年に比べ減少しており、長期的には減少傾向にあります。

図表5 出生数の推移



資料：住民基本台帳